

*2018年2月改訂（下線部分）

服用に際して、この説明文書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう大切に保管してください。

第2類医薬品

漢方製剤

本草黄連解毒湯エキス錠-H

ほんぞうおうれんげどくとう

本草黄連解毒湯エキス錠-Hは漢方処方「黄連解毒湯」を煎じて服用する不便をなくし、簡便に服用出来るようにエキス錠とした製品です。

おうれんげどくとう

⚠ 使用上の注意



相談すること

- 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
(1)医師の治療を受けている人。
(2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
(3)体の虚弱な人（体力の衰えている人、体の弱い人）。
- 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症状の名称	症 状
間 質 性 肺 炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
肝 機 能 障 害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
腸 間 膜 静 脈 硬 化 症	長期服用により、腹痛、下痢、便秘、腹部膨満等が繰り返しあらわれる。

- 1ヵ月位（鼻出血、二日酔に服用する場合には5～6回）服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
- * 4. 長期連用する場合には、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

体力中等度以上で、のぼせがみで顔色赤く、いらいらして落ち着かない傾向のあるものの次の諸症：鼻出血、不眠症、神経症、胃炎、二日酔、血の道症^注、めまい、動悸、更年期障害、湿疹・皮膚炎、皮膚のかゆみ、口内炎

注）血の道症とは、月経、妊娠、出産、産後、更年期など女性のホルモンの変動に伴って現れる精神不安やいらだちなどの精神神経症状および身体症状のことである。

（裏面もお読み下さい）

用法・用量

次の量を1日3回食前又は食間に服用すること。

年齢	1回量	1日服用回数
大人（15歳以上）	4錠	3回
7歳以上15歳未満	3錠	
5歳以上7歳未満	2錠	
5歳未満	服用しないこと	

<用法・用量に関連する注意>

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。

成分・分量

12錠〔大人1日服用量〕中、次の成分を含有する。

成分	12錠中
黄連解毒湯エキス （オウゴン…………… 3.0g オウレン…………… 1.5g） （サンシシ…………… 2.0g オウバク…………… 1.5g） より抽出。）	1.3g

添加物として、セルロース、炭酸Ca、メタケイ酸アルミン酸Mg、クロスCMC-Na、ステアリン酸Mgを含有する。

保管及び取扱い上の注意

- (1)直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること。
- (2)小児の手の届かない所に保管すること。
- (3)他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4)使用期限をすぎたものは服用しないこと。

本品についてのお問い合わせは、お買い求めのお店又は下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

本草製薬株式会社 お客様相談室

〒468-0046 名古屋市天白区古川町125番地

電話：052-892-1287（代表）

受付時間：9:00～17:00（土、日、祝日を除く）

【副作用被害救済制度のお問い合わせ先】

（独）医薬品医療機器総合機構

電話 0120-149-931（フリーダイヤル）

本草製薬株式会社

名古屋市天白区古川町125番地